第6章　感染症及び食中毒統計

感染症統計

表1　感染症患者数及び罹患率（病類・年次）

分類	感染症名	30 年		令和元年		令和2年	
		患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率
	総　数	**495**	**52.3**	**569**	**60.5**	**335**	**35.7**
Ⅰ類	総数	－	－	－	－	－	－
	エボラ出血熱	－	－	－	－	－	－
	クリミア・コンゴ出血熱	－	－	－	－	－	－
	痘そう	－	－	－	－	－	－
	ペスト	－	－	－	－	－	－
	マールブルグ病	－	－	－	－	－	－
	ラッサ熱	－	－	－	－	－	－
	南米出血熱	－	－	－	－	－	－
Ⅱ類	総数	242	25.7	209	22.3	176	18.7
	急性灰白髄炎	－	－	－	－	－	－
	結核	242	25.7	209	22.3	176	18.7
	ジフテリア	－	－	－	－	－	－
	重症呼吸器症候群	－	－	－	－	－	－
	鳥インフルエンザ（H5N1）	－	－	－	－	－	－
Ⅲ類	総数	32	3.4	41	4.4	19	2.0
	コレラ	－	－	－	－	－	－
	細菌性赤痢	－	－	－	－	－	－
	腸チフス	1	0.1	－	－	－	－
	パラチフス	－	－	－	－	－	－
	腸管出血性大腸菌感染症	31	3.3	41	4.4	19	2.0

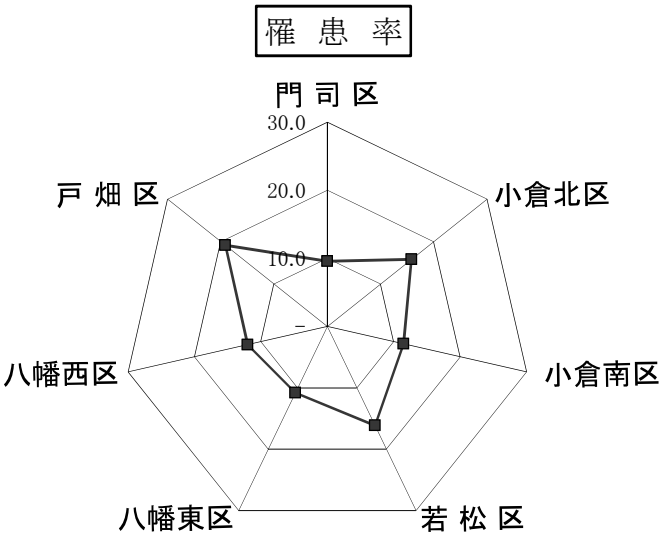
分類	感染症名	30年		令和元年		令和2年	
		患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率
Ⅳ類	総数	20	2.1	27	2.9	14	1.5
	E型肝炎	1	0.1	4	0.4	－	－
	ウエストナイル熱	－	－	－	－	－	－
	A型肝炎	2	0.2	1	0.1	－	－
	エキノコックス症	－	－	－	－	－	－
	黄熱	－	－	－	－	－	－
	オウム病	1	0.1	－	－	－	－
	回帰熱	－	－	－	－	－	－
	Q熱	－	－	－	－	－	－
	狂犬病	－	－	－	－	－	－
	鳥インフルエンザ（鳥インフルエンザH5N1を除く）	－	－	－	－	－	－
	コクシジオイデス症	－	－	－	－	－	－
	サル痘	－	－	－	－	－	－
	重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	－	－	1	0.1	－	－
	腎症候性出血熱	－	－	－	－	－	－
	炭疽	－	－	－	－	－	－
	つつが虫病	1	0.1	－	－	1	0.1
	デング熱	－	－	2	0.2	－	－
	ニパウイルス感染症	－	－	－	－	－	－
	日本紅斑熱	－	－	2	0.2	－	－
	日本脳炎	－	－	－	－	－	－
	ハンタウイルス肺症候群	－	－	－	－	－	－
	Bウイルス病	－	－	－	－	－	－
	ブルセラ症	－	－	－	－	－	－
	発しんチフス	－	－	－	－	－	－
	ボツリヌス症	－	－	－	－	－	－
	マラリア	－	－	－	－	－	－
	野兎病	－	－	－	－	－	－
	ライム病	－	－	－	－	－	－
	リッサウイルス感染症	－	－	－	－	－	－
	レジオネラ症	15	1.6	17	1.8	13	1.4
	レプトスピラ症	－	－	－	－	－	－
	オムスク出血熱	－	－	－	－	－	－
	キャサヌル森林熱	－	－	－	－	－	－
	西部ウマ脳炎	－	－	－	－	－	－
	ダニ媒介性脳炎	－	－	－	－	－	－
	東部ウマ脳炎	－	－	－	－	－	－
	鼻疽	－	－	－	－	－	－
	ベネズエラウマ脳炎	－	－	－	－	－	－
	ヘンドラウイルス感染症	－	－	－	－	－	－
	リフトバレー熱	－	－	－	－	－	－
	類鼻疽	－	－	－	－	－	－
	ロッキー山紅斑熱	－	－	－	－	－	－
	チクングニア熱	－	－	－	－	－	－
Ⅴ類全数把握対象	総数	201	21.4	292	31.1	126	13.4
	アメーバ赤痢	5	0.5	2	0.2	3	0.3
	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	1	0.1	6	0.6	6	0.6
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	40	4.3	24	2.6	16	1.7
	急性弛緩性麻痺	2	0.2	1	0.1	－	－
	急性脳炎(ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	7	0.7	13	1.4	6	0.6
	クリプトスポリジウム症	－	－	－	－	－	－
	クロイツフェルト・ヤコブ病	－	－	1	0.1	1	0.1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	0.2	9	1.0	8	0.9
	後天性免疫不全症候群	18	1.9	7	0.7	5	0.5
	ジアルジア症	－	－	－	－	1	0.1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5	0.5	11	1.2	3	0.3
	侵襲性髄膜炎菌感染症	－	－	－	－	－	－
	侵襲性肺炎球菌感染症	34	3.6	47	5.0	16	1.7
	水痘（入院例）	4	0.4	8	0.9	5	0.5
	先天性風しん症候群	－	－	－	－	－	－
	梅毒	34	3.6	31	3.3	38	4.0
	播種性クリプトコックス症	2	0.2	3	0.3	2	0.2
	破傷風	－	－	1	0.1	－	－
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	－	－	－	－	－	－
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	－	－	1	0.1	2	0.2
	百日咳	18	1.9	101	10.8	13	1.4
	風しん	29	3.1	19	2.0	－	－
	麻しん	－	－	7	0.7	1	0.1
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	－	－	－	－	－	－

※患者数については、市内医療機関からの届出があった数であり、市外居住者も含まれる。
※罹患率は人口10万人対
※平成25年4月から侵襲性インフルエンザ菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症は全数把握に追加。
※平成26年9月からカルバペネム耐性腸内細菌感染症は全数把握に追加。水痘（入院例）は全数把握に変更。
※平成30年1月から百日咳、平成30年5月から急性弛緩性麻痺は全数把握に追加。

表2 結核登録者の状況

	新登録患者				年末現在登録者					
	総数		新登録肺結核（再掲）		総数		活動性全結核(再掲)		活動性肺結核(再掲)	
	患者数	罹患率	塗抹陽性数	罹患率	登録者数	登録率	患者数	有病率	患者数	有病率
全　国	**12,739**	**10.1**	**4,615**	**3.7**	**31,551**	**25.0**	**8,640**	**6.8**	**6,315**	**5.0**
北九州市	**123**	**13.1**	**30**	**3.2**	**289**	**30.8**	**93**	**9.9**	**63**	**6.7**
門 司 区	9	9.6	3	3.2	35	37.3	9	9.6	8	8.5
小倉北区	29	15.8	4	2.2	70	38.2	24	13.1	12	6.5
小倉南区	24	11.5	8	3.8	49	23.4	16	7.7	12	5.7
若 松 区	13	16.1	－	－	24	29.8	10	12.4	5	6.2
八幡東区	7	10.8	2	3.1	21	32.4	7	10.8	5	7.7
八幡西区	30	12.0	9	3.6	69	27.6	21	8.4	15	6.0
戸 畑 区	11	19.1	4	7.0	21	36.5	6	10.4	6	10.4

注1：率は人口10万人対である。
注2：全国は「結核の統計」による。
注3：新登録患者の塗抹陽性は登録時である。(非結核性抗酸菌症を含まない)



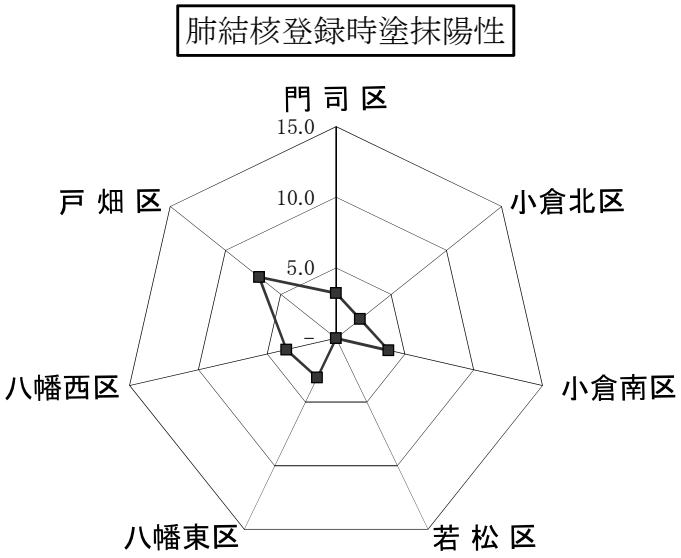
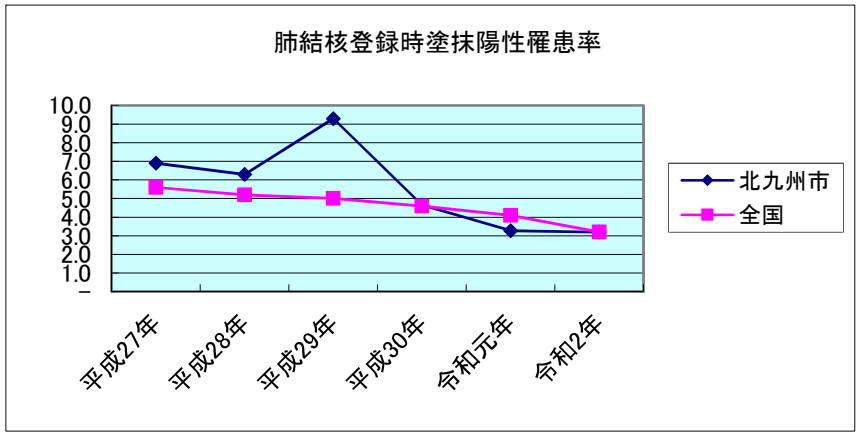
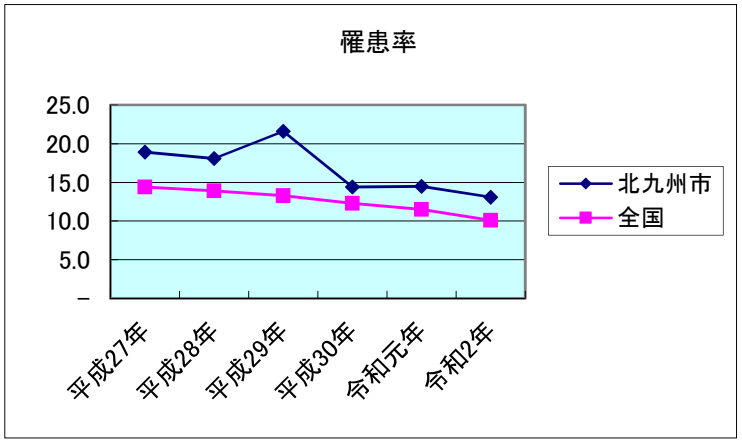


表3　結核登録者の年次推移（平成27年～令和2年）

年次	新登録患者				年末現在登録者					
	総数		新登録肺結核(再掲)		総数		活動性全結核(再掲)		活動性肺結核(再掲)	
	患者数	罹患率	塗抹陽性数	罹患率	登録者数	登録率	患者数	有病率	患者数	有病率
平成27年	182	18.9	66	6.9	424	44.1	128	13.3	90	9.4
平成28年	173	18.1	60	6.3	394	41.2	130	13.6	95	9.9
平成29年	205	21.6	88	9.3	391	41.1	123	12.9	96	10.1
平成30年	136	14.4	44	4.7	351	37.1	109	11.5	78	8.2
令和元年	137	14.5	31	3.3	319	33.7	82	8.7	46	4.9
令和2年	123	13.1	30	3.2	289	30.8	93	9.9	63	6.7





注1：　率は人口10万人対である。
注2：　結核・サーベイランス年報集計による。
注3：　新登録患者の塗抹陽性は登録時である。
　　（非結核性抗酸菌症を含まない）

２ 食中毒統計

令和2年、本市で発生した食中毒事件数は6件、患者数は448名であった。
平成31年（令和元年）と比べ件数は減少、患者数は増加した。
（平成31年（令和元年） 食中毒事件数 14件、患者数 78人）
原因となった病因物質は、ノロウイルス、ウェルシュ菌、カンピロバクター属菌等であった。

表4　食中毒事件及び患者数（病因物質）

	病因物質													
	総数	カンピロバクター属菌	ぶどう球菌	サルモネラ属菌	腸炎ビブリオ	病原大腸菌	ウエルシュ菌	ノロウイルス	アニサキス	ヒスタミン	植物性自然毒	動物性自然毒	その他	不明
件　数	6	1	－	－	－	－	1	2	－	－	－	1	1	－
患者数	448	2	－	－	－	－	25	416	－	－	－	1	4	－

表5　食中毒事件及び患者数（原因施設・原因食品）

原因施設	総数	魚介類			魚介類加工品	肉類及びその加工品	卵類及びその加工品	乳類及びその加工品	穀類及びその加工品	野菜及びその加工品	菓子類	複合調理食品	その他	不明
		貝類	ふぐ	その他										
総　数														
事件数	6	−	1	1	−	−	−	−	−	−	−	1	3	−
患者数	448	−	1	4	−	−	−	−	−	−	−	397	46	−
家　庭														
事件数	1	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
患者数	1	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
販売店														
事件数	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
患者数	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
飲食店														
事件数	3	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	2	−
患者数	25	−	−	4	−	−	−	−	−	−	−	−	21	−
製造所														
事件数	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
患者数	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
仕出屋														
事件数	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−
患者数	397	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	397	−	−
旅　館														
事件数	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
患者数	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
その他														
事件数	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−
患者数	25	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	25	−